

がんになってもよりゆたかな人生を送るための

市民対象 緩和ケア講演会

最期まで目一杯生きる

在宅緩和ケア医が見た 旅立つ命の奇跡

～患者さんやご家族の映像とともに～

講師：まん だ りよく へい 先生（群馬県前橋市 緩和ケア 萬田診療所）

参加無料

どなたでも
ご参加できます

「緩和ケア」とは、患者さんやご家族一人ひとりの身体や心など様々な
つらさをやわらげ、よりゆたかな人生を送ることができるように支えていくケア。
最期のケアではない。早期から緩和ケアを受けたほうが
長生きできるというデータもある。

◆ 講師からのひとこと

終末期医療。体はもう治らない。死に向かっていく。
医療を中心に立ち向かうと必ず失敗に終わる。
その人の人生も「残念でした」と終わる。
一分でも一秒でも長生きしてもらいたいと言う家族の希望の先には、満足はない。
唯一の家族が満足する方法は、本人が満足すること、本人の最後の願いを叶える
ことだと思う。治す医療から離れて、「本人の願いを叶える方針」にすると、
人生を成功に終えることが出来るのです。
そんなことがあることを知ってもらいたいです。

講師 略歴

1964年生まれ。
小学校から大学入学前まで日野市在住
日野第八小学校卒業
群馬大学医学部卒業。外科医として勤務。
2008年から在宅緩和ケア医として約1400人の看取りに
関わる。

2017年6月～緩和ケア 萬田診療所 院長
NHKあさイチ「櫻井翔が見る終末期医療の現場～緩和ケアの
今～」で紹介される。
著書に「穏やかな死に医療はいらない」「家に帰ろう 在宅緩
和ケア医が見た旅立つ命の奇跡」がある。

日時

2019年12月1日(日) 13:30～15:45

〈開場13:00〉

会場

イオンホール（イオンモール多摩平の森3F）

定員200名

申込不要
先着順

お問い合わせ先

主催：日野市 健康福祉部 在宅療養支援課

電話：042-514-8189 FAX：042-514-8097

手話通訳あり